

全国専修学校一般課程各種学校協会 令和4年度第24回定例総会・研修会を開催

6月7日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全国専修学校一般課程各種学校協会令和4年度第24回定例総会を開催（オンライン併用）して開催した。出席者は76名（委任状を含む）。

細野美貴会長が開会あいさつを述べ、議長選出は会則にしたがい細野美貴会長を選出。議長が会議の有効な成立を確認した後、議事録署名人として埼玉県の武藤嘉之理事と熊本県の木庭順子理事が選出され、議事に入った。

【第1号議案 令和3年度事業報告】

【第2号議案 令和3年度決算報告ならびに監査報告】

第1号議案、第2号議案は一括審議を行った。第1号議案では、配布資料に基づき、事務局が令和3年度事業報告として、新型コロナウイルス感染症予防対応を実施しながら定例総会、理事会をハイブリッド形式で開催したこと、ただし、研修会は開催時期を変更しつつ年度内の開催を予定していたが、全国の感染者数の状況から開催を中止したことを報告した。また、生涯学習カレッジ認定講座の運営要項の作成・送付、申請状況について説明、会員校への積極的な周知、広報の実施について報告した。

第2号議案では配布資料に基づき、事務局が収支計算書の科目内容について説明。続いて、白岩直明監事が全て適正であると監査報告を行った。両議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議なく拍手承認した。

【第3号議案 令和3年度事業計画案】

【第4号議案 令和3年度収支予算案】

第3号議案、第4号議案は一括審議を行った。第3号議案は事務局から昨年度未執行となった事業について継続実施していくことを説明、運動方針である、生涯学習ニーズへの取り組みの推進をはじめ、行政を含む地域における連携や専修学校一般課程及び各種学校の諸活動に関する継続的な情報提供、経常費補助金・運営費補助等に関する事例収集と情報共有に努め、会員校間の相互ネットワークによる情報共有機能の構築を推進する、ことを説明。第4号議案は事務局が配布資料に基づき、収支予算案について説明。細野会長からコロナ禍での協会運営の難しさやコロナ後を見据えた事業計画案と収支予算案を計上したことについて説明した。質疑では、協会ホームページに掲載されている生涯学習カレッジ認定講座の受講者数に関する質問や講座修了証に押印する認定講座の陰影が受講者に好評である、との意見をいただいた。また、コロナ禍での各種学校による通信制（特例）に関する質問が出された。その他質疑はなく、両議案に関して出席

者全員異議なく拍手承認した。

【第5号議案 役員選任】

議長から役員選任手続きについて説明。理事、監事ならびに会長、副会長候補者の選任について、本総会前に開催された理事会において協議した素案を提出。新任理事を含む理事候補者案ならびに監事候補者案について出席者全員異議なく拍手承認した。続いて、会長、副会長候補者案についても出席者全員異議なく拍手承認した。

令和4,5年度協会役員は以下の通り(順不同、敬称略)。

<会長> 細野美貴 (栃木県・真岡珠算簿記学校)

<副会長> 帆苺絹代 (兵庫県・加古川ファッションカレッジ) ※新任※ 守谷たつみ (東京都・専修学校早稲田予備学校)

<理事> 武藤嘉之 (埼玉県・大宮高等珠算学校)、江副隆秀 (東京都・新宿日本語学校)、瀬尾和子 (富山県・瀬尾学園総合カレッジ S E O)、窪津典明 (大阪府・専修学校夕陽丘予備校)、古川晃 (福岡県・田中重子製帽専門学院)、木庭順子 (熊本県・専修学校熊本壺溪) ※新任※ 香川順子 (東京都・メロス言語学院)、篠原克彦 (東京都・東洋言語学院)、立木明 (岐阜県・立木珠算学校)

以上により、議長が全議案の原案・提案どおりの承認を確認した。

また、最後に今回初めて総会にご出席いただいた方にご挨拶をいただき、総会の全日程を終了した。

総会終了後、2年ぶりに研修会を開催した。講演は①学校法人早稲田学園守谷たつみ理事長、戸村将文課長による「生涯学習カレッジ認定講座掲載にかかる経緯について」、②学校法人江副学園江副隆秀理事長による「留学生受け入れにかかる日本語教育の重要性について」。